平成24年度当初予算　予算要求シート

整理番号	07　－　004	マスタープラン 3つの挑戦		マスタープラン 施策番号	－	局・課名	市民人権局　消費生活センター
区分	新規・拡充・重点				－		

（単位　千円）

事　業　名	計量器検査事業
関連事業	

	平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
事　業　費	6,620	5,712	11,098
事業期間	H47　～　H	全体事業費	

事業目的

消費者が商品購入に際して不利益をこうむらないように、適正な計量器を使用してもらうための２年に１回の定期検査、商品量目立入検査等の立入検査および啓発事業により適正な計量の実施を確保することを目的とする。

今年度要求のポイント

特定計量器定期（集合）検査を実施する。　大阪府消費者行政活性化基金事業補助金を活用し、計量思想の普及啓発のための配架場所を拡充し、啓発物および機器を購入する

事業内容

・計量法第１９条に基づく特定計量器の定期検査を継続実施する。
　取引・証明に使用するはかり（特定計量器）は、検定証印等の付されたものを使用し、２年に１回の周期で「定期検査」を受検することが義務づけられている。
集合（持ち運びできる特定計量器を小・中学校まで持参する）検査と所在場所（土地・建物等に取付けられているため事業所へ出向く）検査を隔年で実施する。
２４年度は集合検査を実施する。
・商品量目立入検査（内容量表記のある商品が表記どおりの量があるか調べる）
・計量思想の普及啓発等に大阪府消費者行政活性化基金事業補助金を活用し事業を実施する。
　消費生活センター機能強化事業（配架場所の拡充）
　消費者教育・啓発活性化事業（啓発物及び機器購入）

主な要求内容

（単位：千円）

項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等
計量器検査事業	5,283	6,691	委託料等　6,691千円
消費生活センター機能強化事業		2,169	工事請負費等 1,719千円　備品購入費等 450千円
消費者教育啓発活性化事業		1,015	需用費 915千円　備品購入費等 100千円
消費者行政活性化オリジナル事業		16	報償費 16千円
長期研修旅費		236	旅費236千円
その他事務経費	749	971	
合計	6,032	11,098	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～23年度）】
一般社団法人大阪府計量協会に特定計量器定期（所在場所）検査を委託

【24年度】
一般社団法人大阪府計量協会に特定計量器定期（集合）検査を委託
大阪府消費者行政活性化基金事業補助金を活用し、計量思想の普及啓発業務の充実

【今後（25年度～）】
計量法第20条に基づく指定定期検査機関としての有効期間（3年）の満了を迎えるため、一般社団法人大阪府計量協会を再指定し、特定計量器定期（所在場所）検査を引き続き委託

その他　特記事項